

ユニクロへの公開書簡

労働者の権利の尊重を

取引中止では労働者の権利は保障されない！

ファーストリテイリング（原注一）は6月17日の声明（原注二）で、深圳市龍華新区の慶盛廠（Shenzhen Artigas Clothing & Leatherwear）でのストライキを注視しており、利華製衣グループ（Lever Style Inc.）の経営陣が傘下の慶盛廠の従業員らと対話を行い、問題を平和的に解決するよう促しています。そして、事態が速やかに改善されない場合には、取引中止を含めた関係の見直しを明らかにしています。私たちもファーストリテイリングと同様に、人権を保障し適切な労働環境を提供することが極めて重要だと考えています。

しかし、ファーストリテイリングの警告にもかかわらず、利華グループの経営陣はいまだに労働者との対話を拒否し続けています。労働者らは23日に発表した公開書簡のなかで、工場閉鎖にともなう解雇補償金などについて対等な交渉をおこなうよう、あらためて経営陣に求めています。たいへん残念なことに、利華グループは労働者の要求を無視しただけでなく、平和裏に争議をおこなっていた労働者らを、警察を使って弾圧しました。50歳を過ぎた女性労働者はストライキ初日（6月9日）に逮捕され、いまだに釈放されていません。ストライキは20日近く続けられていますが、利華グループは補償については一言も言及していません。

問題解決に対する利華グループの不誠実な対応に私たちは大いに失望しています。それ以上に危惧するのは、たとえファーストリテイリングが利華グループとの取引を中止したとしても、労働者の正当な権利は全く保障されないままだということです。利華グループの主要バイヤーであり、また長く協力関係のあったファーストリテイリングは、工場閉鎖や社会保険の未加入など、サプライヤーの状況に通じていたはずですが、労働者の合法的な権利を保障するための積極的行動をとらず、たんに取引関係を中止し、労働者を放置するだけでは、委託ブランドメーカーとして無責任な行為であると考えざるを得ません。労働者の多くは女性であり、長年にわたってユニクロの製品を生産し、まもなく定年の年齢を迎えようとしていました。しかしこのように正当な補償さえも得られないままでは、今後の生活は困難を極めることになりかねません。ファーストリテイリングは、労働者たちが正当な補償を得られるまで、この問題に積極的に介入しなければなりません。

SACOM は改めてファーストリテイリングに対して次のことを求めます。

一、労働者と平等な交渉を行うよう利華グループに要求すること

- 二、社会保険料の追納および解雇補償金を支払うよう利華グループに要求すること
- 三、ストライキに参加している労働者に対する報復を行わないことを確約させること
- 四、この問題が解決するまで主体的に介入すること

大學師生監察無良企業行動 (Students & Scholars Against Corporate Misbehaviour : SACOM)

2015年6月26日

原注一 ユニクロはファーストリテイリングの中核企業

原注二

<http://www.fastretailing.com/eng/csr/news/1506171300.html> (英語)

<http://www.fastretailing.com/jp/csr/news/1506171300.html> (日本語)

コンタクト・パーソン : Alexandra Chan, プロジェクト・オフィサー

Email : chenalexaa@sacom.hk

Phone : 852-23925464

(翻訳 IY)